

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備		利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓	✓		施設基準は満たしていますが、幼児期の活発な子ども達にとって少し手狭感もあります。ホールをクラスごとに活動したり、園庭遊びなど戸外で伸び伸び体を動かす機会を設けています。また、教室内を広く使えるようにテーブルやイスを都度片づける等広いスペースを確保できるようにしています。
		職員の配置数は適切であるか	✓			個別指導時や給食時など、必要な場所、時間に職員が配置できるように前日に翌日の予定と配置を確認しています。また、職員同士の情報交換や日々のやり取りを活発に行うことで各職員の対応力を強めていけるように努めています。
		事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			段差がある部分もありますが、バギーや車いすを利用する際には台を置き段差を解消して利用できています。2階への子どもたちの移動も必要に応じてエレベーターを活用し安全性確保に努めています。
業務改善		業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓	✓		業務上の課題全般を職員会議などで抽出し解決策やその結果などを確認する機会を設けています。まだ一人一人に業務改善に携わる意識を高めていく必要も感じていますので研修等を行えるように検討しています。
		保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			ご家庭より評価を頂き、改善点を報告させていただいています。また、送迎時や連絡帳でのやり取りの中で頂いたご意見等も保育療育に活かしていけるように心がけています。
		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			施設玄関に掲示、またホームページ内で公表しております。また、園長を中心に、頂いたご意見を元に今後の活動に活かせるよう話し合いを行う時間を設けています。
		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	✓	第三者による正式な施設評価は未実施となっております。
		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓	✓		園内研修を定期的に行っています。今年度は各クラスごとに子どもへの関わり方の基礎を研修するなど新しい取り組みも行っています。また、救急法や衛生管理など、安全に過ごすための研修も行っております。
適切な支援の提供		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	✓			本人、またご家族の希望や「こんなことがしたい」という声を大切にしています。またご家庭からの情報収集や客観的な分析ツールも併用しながら子どもの実態に合った支援計画の作成を心がけています。
		子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			遠城寺式検査や園内での共通評価ツールを用いながら生活のし易さ、過ごし易さを図る事を目的に支援を行っています。また、職員間で共有し、どの職員も一人ひとりの目標・強み・課題を把握できるように努めています。
		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	✓			生活関連動作、コミュニケーション、社会性、言語・コミュニケーションなど「発達支援」の項目を網羅出来るように計画を作成しています。また、それぞれの子どもの強みにもしっかりと着目し、強みを伸ばしていける目標設定を心がけています。
		児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓			担任と児童発達支援管理責任者が意見交換しながら個別支援計画を作成しています。クラス会議やリーダー会議等を行い、支援の内容を確認しています。また実際の支援の状況や結果を共有し個別支援計画に沿った支援に努めています。
		活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			クラス担任で話し合い、子ども達の興味関心や発達課題に合わせた活動を月ごとに立案しています。また、体験活動として、スーパーでの買い物、外食体験、公園など様々な子どものニーズに合わせた活動を意識して行っています。

		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓	✓	運動や製作またりズム遊びなど子ども達の興味関心を広げるための活動を提供できるようにしています。また、クラス之枠を超えて縦割りでの活動や共通の課題や楽しみをもとにした活動も取り入れるようにしています。プログラムが固定化しないように意識して保育計画を立てています。
		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	✓		集団生活の中で学び、成長できる事に主眼に置いた計画立案を行っています。その中で、必要に応じて個の力を伸ばすための支援を計画に組み込んだり、生活動作等の個別性のある課題に関しても目標に取り込みながら支援を行っています。
		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓	✓	出勤後、職員が集いその日の予定の確認を行っています。また前日に打ち合わせを行い、支援体制(人員配置)の確認やクラス活動の内容などを確認しています。また、送迎バスや延長保育など安全に行えるように調整を行っています。
		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓		業務終了時に全体での打ち合わせを行っています。支援の内容に関してや子どもの様子など気づいたことなど話し共有する時間を設けています。
		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		毎日活動の記録を残し、つながりのある支援の積み重ねに努めています。担任間や主任保育士とも内容を確認し意見交換を行う機会を設けています。
		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		年に2回モニタリングを行い支援内容の確認や支援の状況を職員間で確認するようにしています。また、目標の見直し、新しい目標の作成をモニタリング後に行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		モニタリング会議には担任が出席し、ご家族をはじめ関係者での連携の場として大切に考えています。実生活の様子をお伝えできるようにしています。また児童発達支援管理責任者や主任保育士も必要に応じて会議に参加しています。
		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		地域の子育て教室に職員を派遣したりと関係機関と連携を取りながら支援を行えるようにしています。また、必要に応じてすぐに連携が取れるように日頃よりやり取りを密に行うように心がけています。
		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	✓	✓	地域の協議会に参加したり勉強会を通して、地域との連携や知識の構築に努めています。
		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	✓		看護師を配置し、緊急時の対応、医療機関との窓口として対応しています。また服薬や緊急時の対応をご家庭とも共有しています。受け入れがスムーズに行え安心して通っていただける環境設定、知識の向上に常に励んでいます。
		保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		並行通園の子どもに関して、通園先の先生と情報交換を行ないながら、共通認識の元支援が行えるようにしています。また時間の調整などフレキシブルに行い並行通園による負担が少なくなるようにしています。
		小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓	✓	就学に向けて、小学校や支援学校と情報交換を行っています。また、必要に応じて学校の先生や市町村の行政担当者に来園して頂きひかりの家での生活の様子を見て頂ける機会を設けています。
		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓	✓	他事業所との研修にも積極的に参加できるようにしています。また、行政機関で行われる研修にも参加できるようにしています。
		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		隣接する市川幼稚園と行事を一緒に行ったり、園庭を共有しながら遊ぶ事で交流する機会を設けられるよう努めています。また、行事の中で他園と交流する機会も設けることができます。

	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓	✓	自立支援協議会や医療的ケア児者の連絡協議会など地域の会議にも可能な限り参加できるようにしています。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		送迎時に直接お話ししたり、連絡帳を通してやり取りし共通理解を持ちながら支援を進めていけるように心がけています。また、本人・ご家族の思い・希望を面談の時間などにもしっかりと確認しながら、共通理解のもと支援を進めていけるようにしています。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓	✓	ペアレントトレーニングの名目での活動は現在行っていますが、親子音楽療法など親子活動を行いながら、ご家族同士でもやり取りでき情報交換できる機会を設けています。また、保育参加や敬老会の場面を通して保護者間の交流が生まれる機会を提供出来るように心がけています。
保護者への説明責任等	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		入園児に運営規定等の重要事項を説明させて頂きます。利用負担等に関しては月ごとに報告させて頂いています。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		年2回の面談時に支援計画の内容をご家族と一緒に確認し同意をいただいています。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓	✓	保護者会の活動に協力させていただき、積極的に職員も活動に参加できるようにしていきます。
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		お電話や連絡帳、また送迎時など出来る限り迅速に対応させて頂いています。また、相談や申し入れの内容によっては、園内で協議させて頂き、しっかりとお応えできるように心がけています。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		月報やクラスだよりを毎月発行し園での様子をお伝えしています。また、月の保育計画をお伝えしながら行事やクラスでの活動予定が事前に分かるようにしています。
	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		年度初めに個人情報の同意書を頂き確認させていただいています。また、行事等での写真や動画の取り扱いに関しても注意を払っております。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓	✓	各種マニュアルを策定し、職員全体で把握できるようにしています。また、地震、火災、洪水、不審者等を想定した訓練を月に一回行っています。
	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	✓		入園時、また学期初めに確認しています。てんかんに関しててんかんの種類や対応方法などご家族と密にやり取りしながら安全に過ごせるように留意しています。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		医師の診断と指示書に基づいて対応しています。アレルギー因子の確認や、給食の献立をもとに事前にご家庭と確認するなど行い給食やおやつが安全に提供できるように心がけています。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		ヒヤリハットがあった際には速やかに報告書を作成し、園全体で問題点や改善点を確認し周知徹底するようにしています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		虐待防止委員会を中心にマニュアルの作成しています。また、虐待防止に関する研修を随時行っています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		身体拘束等適正化委員会を設けマニュアルの作成、園としての対応方法をまとめ職員に周知しています。また、虐待防止の研修と合わせて身体拘束に関しての研修も行っています。

○この事業所における自己評価結果(公表)は事業所全体で行った自己評価です。